

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十八年十月度 入選句（投稿総数二千五百五十一句・小中学投句数千八百一句）

特選

りんごむくおばあちゃんの手大きいな 大垣市 田中 凜(小四)

りんごをむいてくれるおばあちゃんを見ての「発見」の一句です。それが、結実した見事な作品です。この一句から、頼りがいがあり、元気であたたか味のあるおばあちゃん像が想像できて楽しい一句に仕上がりました。目の前にいるおばあちゃんを観察する目が、よく働いて出来上った佳句です。

やきいもをひとつたべるとまたひとつ 大垣市 森川 茜(小三)

「ひとつたべるとまたひとつ」がよく効いた一句です。この「ひとつ」の繰返しと、「また」という表現がすばらしいですね。作者にとつて、焼き立てのほくほくしたさつまいもが好物なのでしょう。また、読み手のみなさんの中にも、焼きいもファンが沢山いることと思います。今がさつまいものおいしい季節ですね。

山たちがもみじをいしようにファッションショー 大垣市 谷口 さら(小二)

秋は紅葉の季節です。青空のもと、赤や黄色に色づいた山々が、その美しさを互いに競い合っているということです。「もみじをいしようにファッションショー」と詠んだ表現が巧みです。「もみじをいしように」が八音になっていますが、ここは、いいでしょう。視覚のよく効いた一句です。

秀逸

風鈴がひびく夜空に三角形 大垣市 松下 希色(小六)

夕焼けが別れる二人を照らしてる 美濃加茂市 則竹 晃太郎(中二)

ひがんばなていぼうそめるあかあかと 大垣市 杉原 汰星(小二)

あまのがわだいすきなひとあえるひだ 大垣市 友田 悠月(小二)

ほうせんかばちんとはじけおこりんぼ 大垣市 大倉 心響(小二)

じいちゃんの心がこもったくりきんとん 大垣市 しぶ谷 こうさく(小二)

天の川大きな空のシャンデリア 大垣市 川邊 咲太郎(小三)

自転車でコスモス畑かけぬける 大垣市 清水 もも(小三)

父が乗りかたむくたらいい秋の川 大垣市 中村 駿斗(小四)

きんもくせいたどって行けばばあちゃんち 大垣市 平田 ひなの(小五)

入選

おひがんだおはぎを作ろうお母さん	大垣市	早野 恵理子(小四)
三日月が刀のようにこをえがく	美濃加茂市	佐合 乙華(中三)
どこまでかどこまで高い秋の空	美濃加茂市	西川 乃愛(中二)
生徒より大人がもえる運動会	美濃加茂市	高山 慎吾(中二)
夜の空輝く花火は万華鏡	美濃加茂市	原 綾佑(中二)
かかしさんはたけをまもるかみさまだ	大垣市	大橋 梨穂(小三)
もみじ山しぜんの中の絵かきさん	大垣市	山本 はると(小二)
月あかりぼくをてらしてくれている	大垣市	木村 けんしん(小二)
かきたべてかりつとうまいおとがする	大垣市	はやの りつき(小二)
すすきさんみんなでゆらゆらおどってる	大垣市	ぬのめ くれは(小二)

入選

ながれ星まっくらやみのキャンプ場	大垣市	おくだ そうや(小二)
あきのやまあかやきいろであつげしよう	大垣市	石ばし れん(小二)
銀河まで行ってみたいな行けるかな	大垣市	安井 俊翔(小三)
公園をとんぼにとられた日曜日	大垣市	小林 りん子(小三)
流れ星わたしのねがいかなうかな	大垣市	松岡 朋葉(小三)
秋祭りみんなでビンゴもりあがる	大垣市	中村 れいと(小四)
大声賞みんなで勝ちとる運動会	大垣市	横田 七香(小四)
弟とどんぐりごまできょうそうだ	大垣市	棚橋 万桜(小四)
天高くおうえん団の声ひびく	大垣市	奥田 真央(小四)
窓をあけ空を見るなりいわし雲	大垣市	大橋 琉生(小五)

選者吟

伊吹嶺の風をもらって柿吊す

幹

郎